

令和2年度(2020年度)

管理事業名	都市交流事業				総合計画の体系		大綱 7 政策 2 施策 1	都市魅力部 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化の振興		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	26	都市交流費
部局名	都市魅力部	予算執行所属		文化スポーツ推進室						
予算大事業名 都市交流事業			上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名							
事業の目的と概要										
【目的】 フレンドシップ協定を締結した6市町との交流事業を実施し、体験学習や生涯学習の機会を提供し、住民相互の連携、コミュニティ活動の振興を図ります。 海外友好都市及び諸外国からの訪問団の受入れを行うなど、市民の国際感覚を養うとともに、外国籍市民の人権が尊重され、だれもが住みやすいまちづくりを進めるために、多文化共生の推進を図ります。										
【概要】 ・フレンドシップ協定を締結した6市町との交流事業 ・海外友好都市及び諸外国からの訪問団の受入れ ・外国籍市民のための行政通訳窓口同行事業 ・在住外国籍市民のための日本語教室										

I 事業の成果(実績)

指 標 名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成 果 指 標 の 定 義
多文化共生推進事業利用者数	人	44	68	42	外国籍市民のための行政通訳窓口同行事業の利用者数
多文化共生推進にかかる主催事業への参加人数	人	1,562	1,625	940	在住外国籍市民のための日本語教室への延べ参加者数
成果の説明	「外国籍市民のための行政通訳窓口同行事業」は、外国籍市民が行政窓口において各種の手続きや相談を行う際、円滑に手続きを行うことができるよう支援するもので、多くの場面で活用されています。また、外国籍市民に対し行う日本語教室は言語の習得に加え、日本の文化や生活を学ぶ場として国際交流協会と連携し取り組んでいます。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,879	2,916	2,823	△93
経常収入 小計(a)	2,879	2,916	2,823	△93
給与関係費	14,589	14,476	14,296	△180
物件費	9,620	9,943	8,297	△1,646
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	8,084	8,109	8,000	△109
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,229	1,229	1,229	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,306	1,318	1,315	△3
退職手当引当金繰入額	3,838	319	579	259
支払利息	2,558	2,378	2,186	△192
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	41,224	37,772	35,902	△1,871
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△38,345	△34,856	△33,079	1,777
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△38,345	△34,856	△33,079	1,777
一般財源充当額	43,652	43,820	41,815	△2,005
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	5,307	8,964	8,737	△228

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決 算 額 の 主 な 内 容
物件費	新型コロナウイルス感染症の影響による国内都市交流事業中止のため、バス借上料313千円の減、産業フェアに係る経費200千円の減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,879	2,916	2,823	△93
行政サービス活動支出	37,248	37,372	35,265	△2,107
行政サービス活動収支差額	△34,369	△34,456	△32,442	2,014
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	81	-	-	-
財務活動支出	9,364	9,364	9,373	9
財務活動収支差額	△9,283	△9,364	△9,373	△9
収支差額 合計	△43,652	△43,820	△41,815	2,005
一般財源充当額	43,652	43,820	41,815	△2,005
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動収入:国際交流協会施設使用料1,464千円、千里ニュータウンプラザ維持管理費(国際交流協会負担金)740千円 財務活動支出:千里ニュータウンプラザ国際交流協会に係るPFI返済債務11,550千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指 標 名	年度	実績	単位あたりコスト	分析 内 容 (前 年 度 と の 増 減 理 由)
市民1人当たりのコスト	平成30年度	371,030 人	111 円	令和3年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人当たり95円のコストがかかっています。
	令和元年度	373,978 人	101 円	
	令和2年度	376,944 人	95 円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	10,691	10,688	△3
未収金	-	-	-	地方債	9	9	△0
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,318	1,315	△3
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	51,920	50,691	△1,229	その他流動負債	9,364	9,364	-
土地	-	-	-	固定負債	115,533	105,570	△9,963
建物・工作物	51,920	50,691	△1,229	地方債	72	63	△9
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	12,454	11,865	△589
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	103,007	93,642	△9,364
土地	-	-	-	負債の部合計	126,223	116,258	△9,965
建物・工作物	-	-	-	純資産	125,697	134,433	8,737
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	200,000	200,000	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	出資金	200,000	200,000	-
出資金	200,000	200,000	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	251,920	250,691	△1,229
資産の部合計	251,920	250,691	△1,229	負債及び純資産の部合計	251,920	250,691	△1,229

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

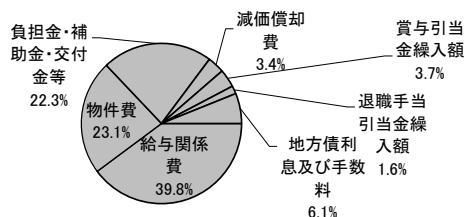
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	2人	日	日	合計(千円)
給与関係費等	16,189千円	千円	千円	16,189
内、時間外勤務手当	2千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

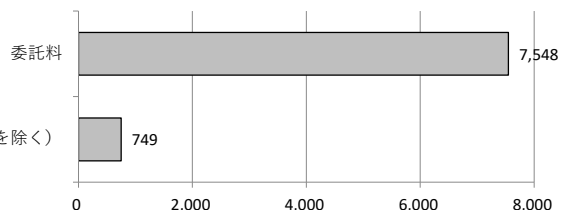
勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係る減価償却による1,229千円の減
出資金	公益財団法人吹田市国際交流協会出資金200,000千円
その他固定負債	千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係るPFJ返済債務による9,364千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



需用費(修繕費を除く)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市国際交流協会 (千里ニュータウンプラザ内)
取得年月日	平成24年(2012年)6月30日
建物・工作物の取得価額	61,444千円
建物・工作物の減価償却累計額	10,753千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		13.5	15.5	17.5	2.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		93.7	93.8	93.7	△0.1
経常費用対公共資産比率		67.1	61.5	58.4	△3.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

国際交流及び多文化共生社会の確立を図るための拠点として、千里ニュータウンプラザ内の施設を公益財団法人吹田市国際交流協会に貸与しています。市民の国際交流及び多文化共生社会の促進を図っています。

外国籍市民と日本人市民が共に暮らし、豊かな地域社会を形成する多文化共生社会が求められる中、行政サービスを公平に受けるための「外国籍市民のための行政通訳同行事業」や日本語を学びながら日本の文化や生活習慣などをを知るための「在住外国籍市民のための日本語教室」の必要性は高く、限られた予算内で質を高めるための工夫等を行っています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人の動きを伴う交流は国内外を問わず全て中止となりました。今後は、これまでの直接触れ合う交流という考え方を見直し、人の動きを伴う交流だけでなく、ソーシャルネットワークサービス(SNS)等を活用した交流を進める必要があります。

吹田市の多文化共生を進めるための事業の一つとして「外国籍市民のための行政通訳窓口同行事業」を行っています。本事業は外国籍市民と職員のコミュニケーションを円滑に行うために実施していますが、事前の予約を必要とし、対応言語も英語・中国語・韓国語であることから、今後はより活用できるように予約期間の短縮や対応言語の充実など、さらなる工夫が必要です。